

人権教材

他にも多数の作品を
用意していますので、
是非ご活用ください。



ひとりぼっちはいやだよね DVD〈20分〉

いじめをなくすために、画期的な指導をしている二つの小学校の授業風景を捉えます。

ある小学校の道徳の授業では、ロールプレイでいじめを疑似体験し、演じた子供や見ていた子供たちに感想や意見を聞いていきます。もう一つの小学校では、子供が仲裁役となって問題を解決する「ピア・メディエーション」という活動に取り組んでいます。それらの活動を捉え、全員が心から楽しいと言える学校を作っていくにはどうすればよいか、子供に視聴しながら考えさせる内容となっています。

だんじり囃子 ビデオ〈54分〉

地域に伝わる伝統芸能を通じて人々がふれあう姿を描き、人権・同和問題解決への手がかりになるよう作られています。

小学5年生と3年生の兄妹は、家の都合で転校することになりましたが、新しい学校でも友達ができて楽しい日々を送っていました。ところが母親が同和地区出身であることがわかると、二人は皆から無視され、差別を受けるようになります。それを知った担任の先生は、兄の得意なだんじり囃子の太鼓を皆で練習しようと呼びかけます。始めは少なかったものの、力強い太鼓の響きにひかれて参加者が増え、クラスの心が一つにまとまり、皆でだんじり祭りに参加する姿が見られるのでした。



こころの交響楽 ビデオ〈43分〉

21世紀は人権の世紀と言われていますが、世界では、テロや地域紛争などにより人間の尊厳が侵害されています。日本においてもいじめや虐待、DVなど、暴力や力による支配によって幸せに生活する権利が奪われているという現実があります。

この映画では、家庭や身近なところで起る言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・いのちの尊さ」、「自他共により良く生きていくためには何が必要か」、「家族のあり方」などを考えます。

申し込み先: 総合教育プラザ 教育資料室
TEL 027(230)9094 (月～金 9:00～17:00)
FAX 027(230)9099